

法曹コース モデル・カリキュラム

- ・卒業（早期卒業を含む。）には90単位の専門教育科目の修得が必要である。ここでは、そのうち、法曹コース修了のための要件などを考慮に入れた72単位分のモデル・カリキュラムを示す。
- ・各年度の法学部開設授業科目の一覧等に記載された一般的な配当学年と一致しない場合があるが、ここに掲げる科目の、法曹コースにおける配当学年は、以下の通りである。
- ・ここに掲げた科目のうち、基礎講義（特に基礎法科目及び政治学科目）及び法曹コース履修推奨科目には、毎年度開講されるとは限らないものがある。各年度の法学部開講授業科目の一覧に、当該年度に開講されるが翌年度開講されない予定である科目や、当該年度に開講されないが翌年度開講される予定である科目が示される。
- ・ここに掲げた科目のほか、東北大学法科大学院が開講する科目を特別聴講学生として履修することができる（修得した単位は、東北大学法科大学院に進学した際に修得単位として組み入れられる。）。

講義の分類	基礎講義 ^{注1}			基幹講義		展開講義	学部演習 ^{注2}	
	私法・公法科目	基礎法科目	政治学科目	法曹コース 必修科目 ^{注3}	法曹コース 履修推奨科目	法曹コース 履修推奨科目 ^{注4}	法曹コース 選択必修科目	その他
モデル単位数	6単位	2単位	2単位	40単位	10単位	4単位	6単位	2単位
1年次	民事法入門 刑事法入門 司法制度論	法と歴史Ⅰ 日本近代法史 比較法社会論	日本政治外交史Ⅰ ヨーロッパ政治史Ⅰ 西洋政治思想史Ⅰ	憲法Ⅰ 刑法Ⅰ 民法総則				
2年次		法学の理論		憲法Ⅱ 憲法Ⅲ 刑法Ⅱ 刑法Ⅲ★ 刑事訴訟法★ 物権法 契約法・債権総論★ 不法行為法 民事訴訟法★		英米法	法曹実務演習 ^{注7} (学部演習のうち 法曹コース選択 必修科目として 各年度に指定さ れるもの)	法曹実務演習 以外の演習
3年次				家族法 会社法Ⅰ★ 会社法Ⅱ	行政法Ⅰ★ ^{注5} 行政法Ⅱ★ 商法総論・商行為法	法理学Ⅰ 法理学Ⅱ 日本法制史Ⅰ 日本法制史Ⅱ 西洋法制史Ⅰ ^{注6} 西洋法制史Ⅱ ^{注6}		
4年次								

無印は2単位科目、★印は4単位科目

注1：法学部卒業要件として、基礎講義のうち「私法・公法科目」「基礎法科目」「政治学科目」から各2単位を修得することが必要である。

注2：早期卒業のためには学部演習科目を8単位以上修得することが必要である。

注3：東北大学法科大学院入試における特別選抜（5年一貫型）を受験するためには、このうち1年次・2年次の欄に記載された12科目（32単位）を受験の前年度までに修得していることが必要である。3年次の欄に記載された科目は、段階的な学習という観点から3年次での履修を想定し、5年一貫型特別選抜の出願資格に含まれないものであるが、学生が、各自の学習進度に合わせて2年次に履修することも妨げられない。

注4：この中から4単位以上修得することが推奨される。ここに掲げる科目を修得すると、東北大学法科大学院に進学した場合、4単位を上限として基礎法・隣接科目の履修免除の対象となる。

注5：「行政法Ⅰ」を修得すると、東北大学法科大学院に進学した場合、2年次配当法律基本科目の履修免除の対象となる。

注6：これらの科目は令和6（2024）年度まで「西洋法制史特論Ⅰ」「西洋法制史特論Ⅱ」という名称で開講されていたものである。

注7：令和5年度（2023年度）以前の学生便覧にいう「実務演習」も同じものを意味する。